

育友会だより

Vol. 4

令和3年3月9日
兵庫県立神戸聴覚特別支援学校
育友会 広報部

桃の節句も過ぎ、日ごとに春めいてまいりました。
皆様いかがお過ごしでしょうか。
日頃より育友会活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。
さて、先日行われました今年度最後の育友委員会の報告をいたします。

新旧合同委員会について（3月2日）

- ・新役員 15 名、旧役員 17 名（新 4 名を含む）の参加により新旧合同委員会が無事に終わり、各部の引き継ぎも終わることが出来ました。
今後、総会に向けて新旧委員合同で準備を行う予定にしています。



旧役員の皆様、お忙しい中での育友会活動へのご協力 1 年間本当にありがとうございました。
新役員の皆様、これから 1 年間育友会活動へのご協力よろしくお願い致します。

学校より

平素は、本校教育にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

令和二年度が終わろうとしています。今年度は、学校が休校の中、時間や規模を短縮して始業式・入学式を行いました。分散当校からスタートし、皆が一斉に登校することができたのは6月のことでした。夏休みを短縮したり、文化祭を中止したりと、保護者の皆様には随分ご心配をお掛けしました。そのような中、中学部の自然体験活動、高等部の修学旅行、小学部の修学旅行を無事行うことができたことが、2学期の何よりもホッと安堵することでした。就労や入試の手続きや準備においても、例年よりさまざまなハードルを乗り越えていかななくてはならない事態が数多くあり、これについては、保護者の皆様のご協力があり、大変感謝しております。

3学期の教育活動では、小学部は中止になった文化祭の代わりに学習発表会に向けて取り組みました。中学部は、オリンピック・パラリンピックについて調べ、新聞を製作し、発表をしました。発表に際して、発表者同士の掛け合いやパフォーマンスの面白さが発揮され、素晴らしい発表でした。また、高等部1年生は、気になる職業・なりたい職業についての発表、高等部2年生は、修学旅行についての発表、高等部3年生は自分史について発表しました。これまでの自分を振り返る中で、自分を支えてくれた人の存在に気が付き、あらためて、自分は一人ではないということ意識することができたといった発表を聞く事ができました。卒業を前にした高等部3年生らしい発表でした。

さて、令和二年度は、中止や制限、自粛といった中での教育活動でした。令和三年度については、新型コロナウイルスの感染の状態やワクチン接種の影響がどのように出てくるのか、今は分かりません。安全安心な学校生活をおくることに、引き続き全力で取り組むとともに、幼児児童生徒が楽しく登校し、少しずつ自信を付け、逞しく成長していくように一丸となって取り組んでいきたいと思います。

最後になりましたが、育友会活動におきましては、学校の力強い応援団でありますことに深く感謝申し上げます。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

神戸聴覚特別支援学校
校長 柏 早苗

担当からの報告

○ベルマーク活動

- 皆様のご協力で、今年度は合計5,525点集まりました。コロナの影響で集計結果がわかるのが遅くなりましたので、集まった点数は来年度に繰り越して、活用させていただきます。

○出張報告

- 2月5日（金）近畿地区聾学校 PTA 連合協議会 第2回理事会（リモート会議）
副会長出席

○会計報告

- 幼稚部助成金
- 小学部助成金
- 総合支援センター助成金
- 卒業記念品（小学部：シャープペンシル、中学部：3色ボールペン、高等部：印鑑）

○広報部

- 今回の「育友会だより vol.4」は、神戸聴覚特別支援学校のホームページにも掲載しますのでご覧ください。

☆総会は4月29日（木祝）に行われます☆

育友会役員一同より

本年度も皆様のご理解とご協力のおかげで、育友会活動を進めることが出来ました。ありがとうございました。

本校は支援学校であり、また児童生徒数も少ないという環境の中で、円滑な学校生活を進めていく為には、皆様のご協力が欠かせません。次年度もさらなる育友会活動の参加、ご協力をよろしくお願い致します。